

イネ科 サトウキビ属

ワセオバナ(早生尾花)

Saccharum spontaneum L. var. *arenicola* (Ohwi) Ohwi

自生環境

海辺の草地、土手 など

原産地

日本在来

生育を脅かす要因



堤防斜面の草地に生えていますが、市内では分布が限られています。今のところ環境は安定しているものの、堤防強化工事などが行われると、姿を消す可能性があります。

市内の分布状況

利根川や江戸川の土手に見られますが、数は少なく、限定的です。



特徴

☆ 海辺や川岸、湖岸など、日当たりの良い草地に生えています。砂地の環境を好む傾向にあり、特に海辺に多いことからハマススキの別名もあります。穂の雰囲気似ていることから名前に尾花（おばな：ススキの異名）とありますが、ススキではなく、サトウキビの仲間です。

☆ 茎は直立し、1.2 ~ 2m くらいの高さになります。茎にショ糖を含むため、かじるとほんのり甘みがあります。葉は長さ 40 ~ 60cm ほどで、真ん中を貫く白い脈がよく目立ちます。葉の縁がとても鋭いので手を切らないように気をつけてください。

☆ 8 ~ 9 月ごろ、ススキよりも一足先に穂をつけます。穂は長さ 30cm くらいでススキを縦長にしたような形をしています。種が成熟してくるとふわふわした感じになり、銀白色に輝きます。

野生のサトウキビ

サトウキビはインド原産の多年草で、茎の節に大量のショ糖を含むことから、砂糖の原料として重要な作物です。ただ寒さにとても弱いので、国内での生産は沖縄などの暖地に限られます。このワセオバナもサトウキビと同じ仲間ですが、本州（関東地方以西）にも自然分布があり、比較的寒さに強い種類です。さすがにサトウキビほどではありませんが、茎にはかすかに甘みがあります。



わぴちゃんねる 千葉県野田市の植物を動画で紹介!

<https://www.youtube.com/channel/UCJvrXBjegnWATWd-UZsNzCA>

